

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要などきに読めるよう大切に保管してください。

第2類医薬品

アレルギー性鼻炎、急性鼻炎などによる

鼻みず、鼻づまりに

鼻炎スプレー

ナーガルスキット

急性鼻炎やアレルギー性鼻炎は、鼻みず、鼻づまりやくしゃみなどの不快な症状を呈します。

本品はスプレー式ですので、有効成分を鼻腔内に霧状に噴霧して鼻粘膜の炎症をおさえ不快な症状を改善します。

⚠ 使用上の注意

してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は使用しないこと
本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
2. 長期連用しないこと

相談すること



1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (4) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、糖尿病、甲状腺機能障害、緑内障
2. 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
鼻	はれ、刺激感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用后すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

3. 3日間位使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること


《効能・効果》

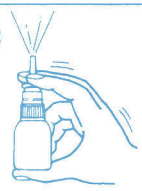
急性鼻炎、アレルギー性鼻炎又は副鼻腔炎による次の諸症状の緩和：鼻づまり、鼻みず（鼻汁過多）、くしゃみ、頭重（頭が重い）

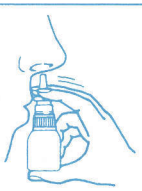
《用法・用量》

成人（15歳以上）及び7歳以上の小児：1回に1～2度ずつ、1日1～5回、鼻腔内に噴霧する。なお、適用間隔は3時間以上おくこと。

●ご使用方法


①  キャップをとりまします。

②  容器をもち、液が噴霧するまで、はね部を2～3回押してください。

③  静かに息を吸い込みながら、1～2度鼻腔内に噴霧してください。

[液が残っている音はするが出ない時]

液を吸い上げるチューブは右図のような構造になっています。緩やかなカーブがついていますので容器をかたむけずお使い頂くと、むだなくお使いいただけます。



容器断面図

- *容器を横にして使用すると、薬液が霧状になりませんので、必ず上向きにして使用してください。
- *使用後は先端部分を清潔なティッシュペーパー等でふきとり、キャップをしてください。
- *ノズルの先端を針等で突つくのは折れた時大変危険ですのでおやめください。

《用法・用量に関連する注意》

- (1) 定められた用法・用量を守ってください。
- (2) 過度に使用すると、かえって鼻づまりを起こすことがあります。
- (3) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (4) 点鼻用にとのみ使用し、内服しないでください。

《成分・分量》

成分	分量(100mL)中	作用
テトラヒドロゾリン塩酸塩	100 mg	鼻粘膜の血管を収縮させ、はれ、充血をとり、鼻づまりを改善します。
クロルフェニラミン酸塩	500 mg	抗ヒスタミン作用により、鼻みずの分泌過多をなくします。
リドカイン	500 mg	局所麻酔作用により痛みや不快感を取り除きます。
ベンゼトニウム塩化物	20 mg	鼻粘膜を殺菌・消毒します。

添加物：グリセリン、エタノール、pH調節剤、香料

《保管及び取扱い上の注意》

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所にキャップをして保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 他の人と共用しないでください。
- (5) 期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、期限内であっても、開封後は品質保持の点からなるべく早くご使用ください。

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記までご連絡ください。
 〒634-0815 奈良県橿原市大谷町182番地
 (株)雪の元本店 お客様相談室
 受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00
 (土曜、日曜、祝日を除く)
 TEL. 0744-22-2440 FAX. 0744-22-2406

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
 (独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
 電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)